

# 京都大学教育研究振興財団助成事業 成 果 報 告 書

2026年 1月 30日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会長 藤 洋 作 様

所属部局 総合生存学館

職 名 教授

氏 名 池田 裕一

助成の種類	令和7年度・国際会議開催助成		
国際会議名	Blockchain Kaigi 2025		
開催期間	2025年 12月 4日 ~ 2025年 12月 6日		
開催場所	IIT,Bombay(インド)		
参加者	総数 121名	内訳 参加者:80名 運営チーム:15名 学生奨学金対象者:20名 基調講演／招待講演者:6名	
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度で作成し、添付して下さい。 「成果の概要」以外に添付する資料 □無 ■有(プログラム、フライヤー )		
会計報告	事業に要した経費総額	2,477,244 円	
	うち当財団からの助成額	930,000 円	
	その他の資金の出所	参加費、Ripple Impact Fund	
	経費の内訳と助成金の使途について		
	費目	金額(円)	財団助成充当額(円)
	招へい者外国旅費(4名分)	960,000	930,000
	記念品等(手提げ袋、名札等)	238,700	
	昼食代(3日間)	292,600	
	カンファレンスディナー	248,710	
	論文集	308,000	
学生奨学金	203,434		
その他	225,800		
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 京都大学教育研究振興財団からの助成金なしには、国際会議BCK25の開催は実現しませんでした。改めて心より深い感謝を申し上げます。		

## Blockchain Kaigi 2025 成果の概要

京都大学大学院・総合生存学館 池田裕一

国際会議 Blockchain Kaigi 2025 (BCK25) を、2025年12月4日～2025年12月6日の三日間にわたり、インド工科大学ボンベイ校にて開催した。

参加者は約80名、運営関係者は約15名、基調講演者は2名、招待講演者は4名であった。一般講演の申し込み数は57名、このうち数名を除き一定水準に達していない講演はポスター発表として、26名の一般講演を行った。この他に、12月6日には二つのパネルディスカッションを行うなど、全体として非常に活発な国際会議となった。以下の写真は、12月5日のティーブレイクの際に撮影したものである。インド工科大学の大学院生や若手研究者を含む、第1線のブロックチェーン研究者の様子がよく分かる。

12月6日の閉会の辞で、来年のBCK26を東京にて開催する発表を行った際には、多くの参加者が来年も参加したい旨の発言があった。閉会後も多くの若手研究者から本国際会議について質問や建設的意見が出され、関心の高さを実感した。現在、ポスター発表を含むすべての講演者からプロシーディング論文の投稿を受け付け中である。投稿された論文について、厳正な査読を経た論文が、日本物理学会のプロシーディングス論文誌（オンライン）に掲載される予定である。

京都大学教育研究振興財団からの助成金なしには、国際会議 BCK25 の開催は実現しなかった。ここに、運営組織委員会を代表して、改めて心より深い感謝を申し上げる。

